

大隅鹿屋病院

病院の概要

所在地 〒893-0015 鹿屋市新川町6081-1
開設者 東上 震一
開設年月日 昭和63年
病院長 中山 義博
病床数 391床
診療科目 内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・泌尿器科・肛門科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科
医師数 40.6名（非常勤3.6名）
指導医数 17名
1日平均外来患者数 286.3名
1日平均入院患者数 342.9名



臨床研修プログラムの目的と特徴

このプログラムは、基本的な診療能力を体得すると共に、高齢化が急速に進む大隅半島において、地域包括ケアの視点から全人的ケアが出来る医師として人格形成を目指す。以下の3点を重視した研修を行います。

1. 地域の最後の砦として何でも診る
救命救急センターや大学病院への搬送は救急車を使っても2時間近くかかるため、まずは当院で診ることが非常に重要です。「当院で断ったら次に搬送する先がない」という地域における自院の役割を認識し、専門に関わらず「まずは診てみる」というマインドが2年間で自然に身についていきます。
2. 入り口から出口まで一貫して一人の患者を診る
都会の大病院ほど救急症例、入院症例が多くはない環境を利用して、研修医が受け持った救急症例が入院となる際には、入院後も担当医として診療に関わる体制を取っています。また、内科研修においては退院後のフォローアップも研修医が担当することにより、急性期から慢性期まで一人の患者の経過を診ることが可能です。昨今の平均在院日数が短くなっている状況において、糖尿病やCOPDなど長期のフォローが重要な疾患についても研修を行うことを目指しております。
3. 研修医も大切なチーム医療の一員である
病院全体の医師数が決して多くはないため、研修医は学習者としての存在であると同時に大切なチーム医療の一員です。地域医療の最後の砦となる病院において、医療チームの重要なメンバーという自覚を持つことはプロフェッショナルリズム醸成に大きく寄与しております。

臨床研修スケジュール

【プログラム例】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科				循環器		外科		外科選択		救急	
	救急											
2年次	産婦人科	小児	地域医療		精神科	選択科						

「現在、厚生労働省に申請中」

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿屋医療センター、福岡徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、宮崎大学医学部附属病院、島根大学附属病院、札幌東徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、県南病院

研修協力施設 徳田脳神経外科病院、札幌南青州病院、静内病院、笠利病院、皆野病院、庄内余目病院、白根徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、垂水徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、新庄徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、宮古島徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、喜界徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、山北徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、山川徳洲会病院

新専門医研修プログラム

日本内科学会（大隅鹿屋病院内科専門研修プログラム） 日本外科学会（大隅鹿屋病院外科専門研修プログラム）
日本総合診療学会（大隅鹿屋病院総合診療専門プログラム）

病院のアピールポイント

★研修医より

○自己紹介

宮崎県出身で大学は福岡大学でした。中・高は志学館でしたので鹿児島県は元々青春を過ごした懐かしい地です。医学部を卒業後ストレートに医師にはなれずに職を転々としてつつ長年かけてようやく医師となり遅まきながらのスタートをきっております。

○どうしてこの病院を選んだか

九州を遠く離れたくはなかったので九州の病院というのが最初の条件。医師として他に比べ遅いスタートであったのでなるべく一年次より多くの症例を経験し、手技も早く経験させていただける病院を求めて探しました。研修医を即現場へ送り出していただけの病院だとの話を各所で耳にしていたのでこの大隅鹿屋病院の門を叩かせていただきました。徳洲会と言えばハイパー気味の研修を課される病院として有名なので少し及び腰でしたが、思い切って飛び込ませていただいてよかったですと思っています。

○医学生さんへの一言

多少交通の不便さがありますが、とても雰囲気の良い病院で上の先生方も非常に熱心に指導に取り組んでくださいます。見学の際に交通費なども出ますので是非一度見学に来られてください。

○今後の医師としての抱負

知識と技量だけでなく患者さんの信頼を得ることが出来、頼っていただけの医師になりたいと考えています。救急の多い病院で研修できる機会に恵まれましたのでそこを活用しつつ体を壊さぬよう頑張っていこうと思います。



1年次研修医 イワナガ アキラ 岩本 晃

★病院長より

当院は、陸の孤島とも呼ばれる鹿児島県大隅半島の中心部にある病院です。田舎ではありますが、陸の孤島である為に、患者を安易に搬送する事が出来ず、中核病院としてレベルの高い医療を求められています。

各診療科の指導医はその期待に答えるべく一般診療は勿論、高度先進医療や学会活動などにも積極的に取り組んでいます。

さらに、全国から講師を招き、院内講演会の開催を行ったり、各地で行われる医療セミナーにも参加させ、研修医を育てるための支援を積極的に行っています。



病院長 ナカヤマ ヨシヒロ 中山 義博



カンファレンス



外科研修



救急研修

初期研修医処遇

身分	常勤		加入保険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災、医師賠償責任保険
基本給	1年次	300,000円	当直手当	1年次25,000円×5回程度、2年次 30,000円×5回程度
	2年次	320,000円	通勤手当	～15,000円（上限）
賞与	1年次	年2回（400,000円）	借金（住宅手当）	50,000円（上限）で半額負担
	2年次	年2回（640,000円）	その他手当	扶養手当、残業手当（最低40,000円～）
出張	学会参加交通費、宿泊費、参加費負担		その他	学会年会費年1学会病院負担、学会発表は何回でも無制限で病院負担
休暇	有給休暇（10日）、夏休み4日、年末年始（4日）			

募集要項

- 募集定員** 5名
応募資格 今年度医師国家試験受験者（その他相談可）
応募締切 令和5年10月11日
試験日程 令和5年8月1日、8日、15日、22日、29日（その他相談可）
試験内容 面接、小論文

交通案内



鹿児島空港ご利用の場合
 空港バス→鹿屋バスセンター→タクシーで5分

応募連絡先

- 所在地** 鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
担当部署 臨床研修センター
電話 0994-40-1111
FAX 0994-41-8355
E-mail kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
URL http://www.kanoya-aishinkai.com/